



『五つの色は五大洲の人々が「平和」をめざすという意』

ひろしま スポーツ推進委員

第84号

令和5年3月31日発行



発行責任者 広島市スポーツ推進委員協議会
会長 玉田 裕司
発行所 広島市中区国泰寺町一丁目4-15
(公財)広島市スポーツ協会事務局 気付

第28回 広島市スポーツ・レクリエーション フェスティバル 10月9日 [日]

雨模様の中、スポーツ推進委員の
晴れ舞台が3年振りに返ってきました!



エディオンスタジアム広島での総合開会式



運営に携わったスポーツ推進委員たち

CONTENTS

- 2面 広島市スポーツ・レクリエーションフェスティバル
- 3面 広島市スポーツ推進委員研究大会
- 4面 ニュースポーツ紹介 ～ラダーゲッター～

広島市スポーツ推進委員
公式ホームページ

広島市スポーツ推進委員 検索



ニュースポーツ紹介



ラダーゲッター

ラダーゲッターは、ヒモでつながっている2個のボールをラダー(ハシゴ)に向かって投げ、ボールがラダーに引っ掛かる(ハングする)と得点となる三世代交流も可能なスポーツ・レクリエーションです。

ルールは簡単で、投げたボールがラダーにハングすると、表示されている数字がポイントになります。基本となる投げ方は、2個あるボールのうち片方のボールを手に持ち、もう片方のボールを下に垂らしてゆっくり前後にスイングし、ボールが後方回転しながら山なりに飛んでいくようにアンダーハンドで投げます。

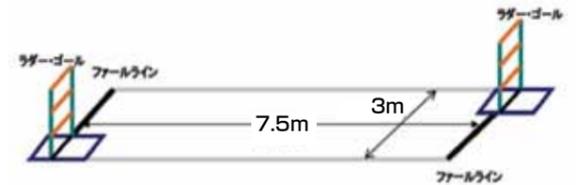
3本あるラダーには、下から1、2、3とポイントが表示されていて、それぞれのラダーにハングしたボールの数×表示されたポイントの合計ポイントを競います。

ただし、投げたボールが床にバウンドして3本あるいずれかのラダーにハングした場合は、表示されている数字に関係なくハングしたボールの数×5ポイントとなります。



基本コート

☆7.5mの間隔を取り、3mのラインを平行に引きます。
☆図のように、ラインの端に、本体(ラダー)の中央部をラインに合わせておきます。



プレーの基本

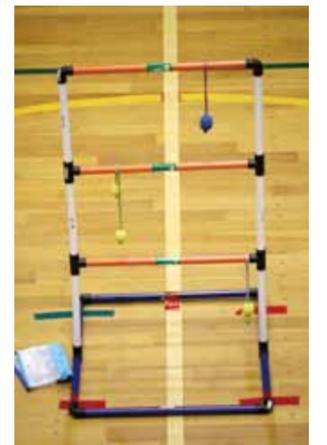
- プレーヤーはファールラインの後ろから、7.5m離れたラダーに向かってボールを投げます。
- ボールを投げる時は必ずボール部分を持ち、アンダースローとします。
- ボールの位置をずらすことはできませんが、紐を結ぶなどの加工はできません。
- ボールがうまくラダーにハングすれば、ポイントを得られます。
- ※ボールが床に落ちてしまったり、他のプレーヤーによってはじかれてしまった場合は、ポイントとなりません。

得点

- 一番上のラダーにボールがハングする：3ポイント
- 真ん中のラダーにボールがハングする：2ポイント
- 一番下のラダーにボールがハングする：1ポイント
- ラダー手前の床や地面にバウンドして
いずれかのラダーにボールがハングする：5ポイント
- ※バウンドした場合の得点は、どのラダーにハングしても5ポイント。(床や地面の材質などによってバウンドが異なるため)
- 1試合5セットマッチ(1セット21点ピタリ)
- 3セット先取したチームの勝利となります。

◆この競技は、いつでもどこでも誰でも楽しめる競技です。21点ピタリにするには、作戦も必要となってきます。ぜひ、みなさん頭と体を使ってチャレンジしてみてください。

問い合わせ 公益財団法人 広島市スポーツ協会 ☎082-243-0579



編集後記

無事に広報誌第84号をお届けすることができました。今年度は半数の広報部員が入替わり、特に上半期から年末にかけては記念誌の制作もあったため、部員のみさんには多くの時間を充ていただき取り組んで貰いました。下半期からは通常の広報活動にはなりました

が、引き続きコロナ対策が必要な中でのスポーツ・レクリエーションフェスティバルの運営や、研究大会では更なるリモート参加の推進を基本とした開催となりました。私たちの活動は、これからもニューノーマルな時代に向け、工夫を重ねながら進めていきます。

初めての 完全オンラインでの 研究大会開催

2022年12月10日、統一テーマ「ニューノーマルな時代に求められる推進委員の役割」と題し、広島市スポーツ推進委員研究大会が完全オンラインで開催されました。開会行事に続いて全国研究協議会の参加報告、講演をオンラインで視聴しました。オンラインでの研究大会参加と各区活動報告のビデオ視聴は、参加者、スタッフにとっても大きな経験になりました。

講師



株式会社サンフレッチェ広島
代表取締役社長

仙田 信吾氏

府中市上下町出身。
2020年から現職。

講演 『サッカー王国広島を背負って』～時代を切り開くサンフレッチェ広島の役割～

折しも本研究大会の数日前まで、森保監督率いるサムライブルーがW杯サッカーにおいて大躍進し世界を驚かせました。サッカー王国広島の歴史を背負って戦う「サンフレッチェ広島」について、お話いただきました。

「広島におけるサッカーの歴史は、野球同様、戦後の瓦礫が残る地の復興と重なる。昭和22年、今の全国高校サッカー選手権大会の前身の全国大会で、現在の広大付属高校が優勝した。復興への勇気を与え、高校サッカーでもその強さが引き継がれていく。やがて日本リーグが始まると市民の署名活動により参画した「東洋工業サッカー部」が4年連続優勝という大記録を作り、メキシコオリンピックでは、監督以下代表18人中6人が広島県の関係者で銅メダルを獲得した。Jリーグの発足で「サンフレッチェ広島」が誕生。リーグ戦、カップ戦などを戦いながら、地域での指導を行う活動も続けている。今後は、他のプロスポーツ競技と共に、学んで歩いていきたい。2024年の新サッカースタジアムのキックオフを楽しみにしている。この地から、広島を元気にしたい。」と熱く語られました。

各区活動報告「ニューノーマルな時代に向けた取組」(オンラインビデオ視聴)

コロナ禍で悩み、苦しんだ各区の推進委員。スポーツを通じて地域に寄り添い続けた取り組みをビデオで報告しました。

中区

ニューノーマルな大会運営として、親善バレーボール大会の様子を紹介。歴史のある大会でスムーズな感染対策ができるよう推進員一丸で取り組んでいます。



安佐南区

スポーツを取り巻く環境は一変。それでも大好きなスポーツをしたい! 工夫すれば活動ができることを信じて、前に進む地域団体の取り組みをまとめました。



東区

コロナ禍でイベント中止が続く中、ラダーゲッターを採用した軽スポーツ交流会を実施。多くの学びの中から感染対策担当を中心に取り組みます。



安佐北区

可部連山トレイルラン。3年ぶりの記念大会を開催し、選手や来場者に笑顔や元気を届け、成功に導いた推進委員の取り組みについて報告します。



西区

でき得る事を精一杯考え実施する。力強いメッセージで始まったコロナ対策。創意工夫したスポレク大会や軽スポーツの普及などについて各部ごとに報告します。



安芸区

2013年からの歴史を持つ瀬野川健康ウォーキング。新型コロナ感染対策のできるニュースポーツを、多くの方が体験参加された内容を報告します。



南区

宇品東学区は、地域の方々と企画から考えた町内スタンプラリーをビンゴ形式で開催。多くの参加者を集め、感染対策を行いながら、安全に楽しんでいただきました。



佐伯区

八幡川リバーマラソンは中止になりましたが、インドアモルック、区民ウォーキングとオリジナルで多彩な取り組みを続けています。



3年ぶりに開催された広島市スポーツ・レクリエーションフェスティバルは、広島広域公園(エディオンスタジアム広島)をメイン会場に、約300人のスポーツ推進委員がレクリエーション運動会、スポーツレクリエーション体験会などの運営にあたりました。

今回はコロナ禍での開催ということもあり、総合開会式の参加人数を制限し、大きな歓声をあげての応援を制限する中で実施されましたが、熱い戦いと笑顔が戻ってきました。



モルック



ポッチャ



ラダーゲッター



アクティブチャイルドプログラム



ターゲットバードゴルフ



タグラグビー



ウォークラリー



総合成績

- 1位 南区
- 2位 安佐北区
- 3位 西区



クロリティー



ターゲットマット



バグゴ



ハリケーシ



リレー



コニホッケー



スパイダーターゲット